

製造業安全対策官民協議会
事務局 御中

2022年8月

一般社団法人 日本伸銅協会
事務局

製造業安全対策官民協議会・神戸宣言に対する日本伸銅協会の取組みについて

2022年度については、2022年3月開催の臨時総会において、安全対策に対する対応の強化が検討され年度の事業方針として、次の内容（抜粋）が承認されました。

安全関係

各社無災害への取り組みを支援するため、安全委員会や地区安全活動を継続推進するとともに、経産省等が主導する製造業安全対策官民協議会に参画し情報収集に努める。また、理事レベルでの安全討議を行うとともに、自然災害対策として協会が行うべき役割を整理することと確認されております。

その上で4つの経営理念については、

一、二、三、については、年間安全衛生推進計画 に織り込むこととする。

四については、安全委員会で課題として取り組みに向け検討を行うこととする。

特に優先すべき事項として、安全に関する情報共有を行い、各社の参考とするための見学会などの具体的な方策を昨年に引き続き検討としております。

（安全教育施設の見学、伸銅業における災害事例データベースの整備ほか）

以上

〈ご参考〉

2021年 実施

0

(一社) 日本伸銅協会

項 目	内 容	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	備 考	神戸宣言
製造業安全対策官民協議会	・ 協議会への参画	←											→	2021年3月度臨時総会にて承認済	
	・ 神戸宣言の取組	←											→		
安全委員会	・ 労働災害統計（毎月）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
・ 関東側安全委員会	・ 災害事例報告		○		○				○			○		委員長会社：清峰金属工業	
・ 関西側安全委員会	・ 活動計画と実施	○					○							委員長会社：神戸製鋼所（長府）	
・ 東西合同安全委員会	・ 各種情報の共有				○									委員長会社：清峰金属工業 ※ 関東・関西側委員長が交互に就任	
災害事例集	1回/年更新										○			会員限定ホームページへ掲示	
地区研究大会										○		×		KYT研修会→コロナ禍により中止 安全衛生研修会→WEBによる実施	
工場見学会	安全取組の研修、見学の実施				○									10月：→ WEB開催へ変更 (関西側委員会社の改善事例報告)	
安全優良事業場表彰	・ 特別安全表彰 ・ 年間無災害表彰 (年間完全無災害営業所)												○	表彰式：定時総会にて実施	
安全標語		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9月：会員従業員からの公募	
安全クイズ											○				
理事会	・ 実績報告				○		○				○		○		
	・ 講演等										○			(講演会中止)	

※上記内容は、毎年暦年で策定している 年間安全衛生推進計画 を踏まえた内容を一部抜粋の上記載。

2022年度・年間安全衛生推進計画

一般社団法人 日本伸銅協会安全委員会

1.	重点方針	はさまれ・まきこまれ要因の低減		
2.	最重点推進実施事項	危険源の排除		
3.	目 標	休業災害10件以下・度数率0.60以下とする		
月	月間推進事項	月間重点推進細目	日本伸銅協会予定	全国的予定
1	新年度重点方針	新年度安全衛生推進計画（重点方針）周知徹底 非定常作業時における危険予知の徹底	定例委員会	緑十字の日（1日） 健康の日（1日）
2	徹底月間	作業前の指差呼称の徹底 安全作業手順の見直し	定例委員会 安全クイズの募集	生活習慣病予防週間
3	教育訓練 月 間	新入社員安全教育 特別教育（中高年者・多発者等） 有資格業務従事者の教育 特定自主検査の徹底（フォークリフト・クレーン等） 監督者層の安全教育徹底（特に挟まれ・巻き込まれ災害撲滅に重点をおいた教育）	年間安全成績発表 定例委員会	春の火災予防運動 労働基準法施行 記念日（1日） 耳の日（3日） 消防記念日（7日） 緑の週間
4		健康診断の実施 リスクアセスメントの推進 防火施設の点検・整備	関西側地区合同安全衛生大会 定例委員会 関東側地区合同安全大会	世界保健デー（7日） 清掃デー（7日） 春の交通安全運動
5	安全意識向上 月 間	管理監督者の安全決意と率先垂範 安全作業手順の周知徹底 はさまれ・まきこまれ災害の危険予知 ヒヤリ・ハット運動（摘出・改善）	年間安全成績優良事業所 表彰（定時総会） 定例委員会	家内労働旬間 世界赤十字デー（8日）
6		交通安全教育実施（運転者と歩行者教育） 設備の点検・整備 整理・整頓・清掃・清潔・しつけの徹底 暑熱作業環境の重点的整備（熱中症予防）	安全標語の募集 安全週間の啓蒙 定例委員会	全国安全週間準備月間 夏の健康運動 環境週間
7	夏期健康管理 推進月間	保護具着用の励行 夏期健康管理の推進（手洗の励行）	定例委員会	国民安全の日 全国安全週間
8		感電防止の徹底 交通事故防止の徹底 暑熱作業環境の重点整備是正処理（熱中症予防）	定例委員会	電気安全協調旬間 夏期災害防止月間
9	衛生対策 推進月間	職場環境の整備 定期健康診断及び特殊健康診断の実施 職場体操の推進 健康維持増進（生活習慣病検診）	上期安全成績発表 安全標語選考結果報告 東西合同委員会（見学会） 定例委員会	防災の日（1日） 全国労働衛生週間 準備月間 秋の交通安全運動
10		通勤災害防止の推進 有害化学物質の管理徹底 職場における受動喫煙防止の推進	定例委員会	全国労働衛生週間 高圧ガス危険予防週間 全国産業安全衛生大会
11	はさまれ・まきこまれ災害 撲滅月間	手・足の災害個所の危険予知 各職場のバトロールの強化実施 （重点バトロール：年間災害多発個所） 防火施設の点検・整備	定例委員会	秋の火災予防運動 プレス災害防止週間
12	年末災害 防止月間	冬期健康管理の推進（うがいの励行） 管理・間接部門の5Sの徹底 （不要・不急品の追放強調） 新年度安全衛生推進計画の策定 （減少目標並びに対策樹立） 年末年始災害の防止運動展開 防火管理の充実 交通事故防止の徹底	定例委員会	防火デー（2日） 年末年始無災害運動

注）この計画表はあくまで協会全体の方針であり、各事業所における具体的推進事項は、個々即応したものを作成して下さい。

2022年度安全衛生推進計画重点方針

「はさまれ・まきこまれ要因の低減」実施要領

一般社団法人 日本伸銅協会 安全委員会

1. 主 旨

一般社団法人 日本伸銅協会 安全委員会では、伸銅業における労働災害の撲滅を計画的に推進するため、1966年（昭和41年）以来、各年毎に労働災害防止計画を策定し各種の運動を展開してまいりました。こうした活動を基に、会員各社の各事業所ではそれぞれの実情に見合った対策を講じて頂いております。

その結果として、伸銅業の休業以上の災害件数は、着実な減少傾向を示し、2009年度（平成21年度）には10件と、休業災害以上の災害件数は過去の最良記録を更新致しました。しかし、その後2010年度（平成22年度）以降はまた、28件、27件、25件、27件と4年連続で悪化を示しました。2014年度（平成26年度）については一旦15件に減少するも、翌2015年度（平成27年度）以降は、20件、17件、15件、17件推移、2020年度は10件減少に向かったものの、2021年度前半までですでに16件となり、依然として巻きこまれ、はさまれ を中心に、災害が発生しております。

今後、製造業においては益々、全般的に安全に対する取り組みが何より重要であることを認識しなければなりません。

そのような中、2017年（平成29年）4月には厚生労働省、経済産業省と製造業の主要団体が集まり「製造業安全対策官民協議会」が発足し、業界の垣根を超えた活動がスタートしており、日本伸銅協会もこの活動に参画しております

こうした現況を踏まえ、安全委員会では、2014年度（平成26年度）より伸銅業の災害撲滅運動への取り組みとして、今一度安全活動の初心に立ち返る気持ちを明確に表した安全重点方針を「危険予知徹底運動」として展開してきておりましたが、更に深堀をして取り組むことが重要であるとの認識のもと、挟まれ巻き込まれ災害が多いことから、2020年度（令和2年度）より重点方針を「はさまれ・まきこまれ要因の低減」として展開致しております。

災害発生件数は中長期の幅で見れば間違いなく減少傾向にありますが、挟まれ巻き込まれ要因による災害が多いのも実状であります。従って、この「挟まれ巻き込まれ災害」をなくすためには安全管理活動を充実・強化し、挟まれ巻き込まれ要因を排除することがますます重要となります。

そのため、2020年度より安全重点方針として「はさまれ・まきこまれ要因の低減」を取上げるとともに、「危険源の排除」を最重点推進実施事項として取り上げ、設備や作業及び安全対策を再確認し、危険源の排除を徹底実施することと致しました。

伸銅協会各事業所におかれましては、何卒「はさまれ・まきこまれ要因の低減」の主旨をご理解頂き、2022年度の運動を活発に展開し、無災害達成に向けた活動への積極的な参加をお願い申し上げます。

2. スローガン

『 手を出す前に一呼吸 指差し呼称で摘み取る危険の芽 』

3. 運動期間 2022年1月1日～12月31日

4. 協賛

東京・神奈川地区伸銅業安全衛生研究会
北関東・長野地区伸銅業安全衛生研究会
埼玉地区伸銅業安全衛生研究会
大阪・尼崎地区伸銅業安全衛生研究会
京都地区伸銅業安全衛生研究会
東海地区伸銅業安全衛生研究会
富山・関門地区伸銅業安全衛生研究会

5. 実施事項

- (1) 安全委員会は、同運動のポスターを作成し年間スローガンとして、各事業所へ配布する。
- (2) 安全委員会は、安全標語の募集を行い、優秀作品を選び表彰する。
- (3) 安全委員会は、「はさまれ・まきこまれ要因の低減」を目的とした、研修会・見学会を開催する。
- (4) 各地区研究会では、「はさまれ・まきこまれ要因の低減」を目的とした、研修会・交流会を開催し、同運動を推進する。
- (5) 各事業所では、この運動を実施する主旨を全職場に徹底し、災害防止対策を実施する。

以 上